

B-13-3

女性不妊症患者に対する還元型CoQ10を含む合剤による 体外受精効果（妊娠率）の改善

【試験方法】

- 試験デザイン：還元型CoQ10とオメガ3を含む抗酸化剤の使用効果を評価する後ろ向き研究
- 被験者：不妊治療中の不妊症女性 299名
※原因不明の不妊症で、体外受精と卵細胞質内精子注入法（IVF-ICSI）を受けている者
抗酸化剤摂取群 135名（平均32歳（22-39歳））、対照群 164名（平均31歳（21-39歳））
- 食品：卵巣刺激前2か月間摂取
※対照群は摂取なし
抗酸化剤：OMEPA Q10（還元型CoQ10 100 mg、オメガ-3 600 mg、エイコサペンタエン酸300 mg、
およびドコサヘキサエン酸 230 mg を含む合剤）
- 評価：卵巣刺激に要した総性腺刺激ホルモン量、卵子の品質、受精卵の数、妊娠率、ほか

	Non-Antioxidant group	Antioxidant group	P
Number of pregnancy-free patients (%)	110 (67.1)	68 (50.4)	0.002
Number of clinical pregnancies (%)	54 (32.9)	67 (49.6)	

【結果】

- ・抗酸化剤摂取群の卵巣刺激に要した総性腺刺激ホルモン量は対照群よりも有意に少なかった。
- ・（左表の赤ライン）抗酸化剤摂取群（Antioxidant）の妊娠率（49.6%）のほうが対照群（Non-Antioxidant、32.9%）よりも有意に高かった。

(Ozdemir AZ et al, Open Journal of Obstetrics and Gynecology, 2019 ; 9 : 1-9 より作成)